

令和6年度第2回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和6年11月18日（月）午前10時00分～午前11時30分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

赤 木 邦 男

小 寺 直 美

山 下 亨

事務局（7名）

畑 中 伸 也（総務部 部長）

近 藤 巖（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 主幹）

長谷川 安成（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

伊 藤 佳 奈（総務部 契約監理課 契約調達係長）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（6名）

加 古 勇 司（社会基盤整備部 アセットマネジメント課 課長）

伊 藤 裕 基（社会基盤整備部 アセットマネジメント課 施設管理第一係長）

高柳 貴久蔵（都市創造部 次長兼都市管理課 課長）

西 脇 聖 二（都市創造部 都市管理課 建築営繕係長）

小 林 信 幸（上下水道部 水道課 課長兼水道技術管理者）

関 塚 佳 生（上下水道部 水道課 課長補佐兼水道係長）

事 項

1 開 会

【事務局】

定刻になりましたので、令和6年度第2回入札監視委員会を開催させていただきます。
本日はご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。着座にて失礼いたします。
はじめに総務部長からご挨拶を申し上げます。

【総務部長】

おはようございます。総務部長の畑中でございます。

会議が始まります前に、最近の市の状況についてお伝えさせていただきます。

今年は、1月の能登半島地震の後、再び北陸では豪雨に見舞われ、桑名市では現在も継続して職員を派遣しています。

そのような報告を聞く中で、今年は特に、南海トラフ地震の臨時情報も発表されるなど、今後、一層、市の災害対応時の強化、地域における共助の風土及び事業者等との連携体制の仕組みづくりについても進めていく必要があると考えております。

また、先月、衆議院議員選挙もございましたが、今週末11月24日の日曜日には、桑名市長選挙もございます。本日から期日前投票も開始され、桑名駅の自由通路、サンシティ、市内の高校等でも期日前投票を行ってまいります。引き続き、公平・公正な選挙事務にも努めてまいりたいと考えております。

この会議も、定期的開催させていただき、入札制度の公平性、透明性を担保していくために皆様からの貴重なご意見をお伺いして、事務の見直しを図って制度の維持に努めてまいりたいと考えております。

本日ご出席の皆様には、忌憚のないご意見を聞かせていただいて、この委員会が有意義なものとなることを願っておりますので、本日の議事もよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

おはようございます。

この入札監視委員会というものが、市のためにどれだけ役に立つのかと、いつもそういったことを考えながらやらせていただいております。

最近の状況を見ますと、例えば、新聞報道によりますと、J Rが橋梁関係のことで談合の疑いで今調査をされているというようなこともあったりします。

だから、人から見た時に正しい入札制度で正しく入札がされているのかというのは、皆さんそうしてほしいと思うところではありますが、それぞれの人の立場に立つと、自分にとっての利益が何かとかいうことを考えると色々なことが起こるのかなと思っております。

私共の存在が、少しでも市の役に立つのであればよいかなと思っております。

皆様には、本日もご協力のほど、よろしくお願いいたします。以上です。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

「議事(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは「(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

①の指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和6年4月から令和6年8月の5か月の間に指名停止を講じました件数は7件です。

この7件は、三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたところでございます。

②の談合情報でございますが、対象期間に寄せられた議事の対象となる情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

本日の会議は一般公開としております。

これ以降の審議につきまして、傍聴を希望される方がみえますので、許可したいと思いますがよろしいでしょうか。

《全委員了承》

【委員長】

ありがとうございます。それでは傍聴人入場のため、しばらくお待ちください。

《傍聴者入場》

【委員長】

傍聴の皆様、お待たせしました。

本委員会での写真、映像については、頭出し部分に限らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、審議に先立ちまして、抽出案件5件について説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づき、関係者の出席を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

《全委員了承》

【委員長】

それでは関係者の出席を求めます。

《発注担当課入室》

【委員長】

審議にあたり、今回の5件の抽出理由について、今回は私が提出させていただきましたので、私から説明させていただきます。

まず、第1案件「樹木維持管理業務委託（赤尾・志知・陽だまりの丘西）⑩」については、発注金額が高額であること、契約金額が最低制限価格と同額であること。

第2案件「国土交通省桑名流域治水出張所管内市道占用部除草業務委託」については、落札率が高いということ、随意契約であるということも含めて選ばせていただきました。

第3案件「陽和・正和中学校防火設備改修工事」については、事後審査型条件付一般競争入札の案件で、落札率が高く、発注金額が高額である、また、応札業者の中で失格業者が多いというところも理由として挙げさせていただきます。

第4案件「在良小学校トイレ改修工事設計業務委託」については、落札率が高いこと、その他の理由についてはこの案件の中で説明したいと思います。

第5案件「多度9号井送水管布設工事（その1）」については、発注金額が高額であるということです。

抽出事案 1 樹木維持管理業務委託（赤尾・志知・陽だまりの丘西）⑩

【委員長】

それでは、第1案件「樹木維持管理業務委託（赤尾・志知・陽だまりの丘西）⑩」について、発注担当課から委託概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【アセットマネジメント課】

おはようございます。発注課担当のアセットマネジメント課の加古と申します。どうぞよろしくお願いたします。着座にて失礼します。

概要書をご覧ください。

件名は、樹木維持管理業務委託（赤尾・志知・陽だまりの丘西）⑩。

履行場所は、桑名市陽だまりの丘地内他。

履行期間は、令和6年5月28日から令和7年2月28日まで。

予算額は、税込み14,000,000円。設計額は、税込み13,998,600円でございます。

委託業務の概要につきましては、同履行場所における市道の街路樹等において、車両や歩行者の通行時の安全性を確保するため、剪定及び除草するものです。

除草工17,900㎡、寄植剪定工6,340㎡、剪定工（低中木）163本、剪定工（高木）202本です。

概要については以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の17ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、造園工事業の特定又は一般の許可業者であること。

所在地は市内までとし、発注業種の完成工事高は、経営事項審査の造園工事の完成工事高が完成工事高合計の2分の1以上であること。

同種業務施工実績として、造園工事の完成工事高が予定価格の1/2以上又は平成21年度以降に、官公庁が発注した案件で、1件の施工実績が予定価格の1/2以上及び除草業務を除く樹木維持管理業務委託又は造園工事の実績を有することとしております。

技術者要件としては、現場代理人と、主任技術者の配置を求め、兼務は可とし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、18ページをご覧ください。

令和6年5月15日に開札を行いましたところ、13者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額において全者同額であったため、くじ引きを行いました。

その結果、有限会社千代田園芸社が落札候補者となり、事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き1,165万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

では、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は、必ずマイクをご利用ください。

【副委員長】

非常にたくさんの業者が応札していますが、この業種は、割と応札が多い業種なのでしょうか。

同じ金額で提出しているというのは、計算しやすいというか、誰が計算してもそうなりやすいということなのでしょうか。

【委員長】

はい。お願いします。

【アセットマネジメント課】

アセットマネジメント課の加古です。どうぞよろしくお願いいたします。

まず1点目の応札者の数が多いことについては、一般的には例年通り4月に発注するため、業者としても1年間の中で比較的仕事がない時期であり、造園業としては良い仕事なのかなということで、市内の業者さんが多く応札していただけたと思っております。

また、2点目のご質問については、予定価格を事前に公表しており、最低制限価格の算出の計算式も公表しておりますので、そのような状況の中、計算をしますと、同額の応札が多くなっているのかなと推測しております。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

では、私の方から。

今、藤田委員からもありましたけれども、同額でもって計算式があるからできると、ほしからということなんですけれども、最低制限価格と同額で入札が行われていると。

ここに談合があったのかと、入札監視委員会としてはそこを見ないといけないということかもしれないですが、くじ引きで行っておりますので、そこには開札の段階においての不正があったということには非常になりにくい。

くじ引きというのは、誰が見ても公平なやり方ということではあると思うんですが。

応札額と最低制限価格が一緒になっている。

この度、抽出案件を選ぶのに非常に苦労したんですけれども、かなりの割合で、言い換えると、アセットマネジメント課さんの扱っている案件に関しては、ほぼほぼ同じ状況が生じております。

なので、予定価格を公表していること、計算式を公表していることでそれは誰でも計算できるからという話になりますと、このやり方が果たしてどうなのかと。

今すぐ何かを変えろということは、私の方から申し上げることはできませんけれども、何か、やはり、やり方を考えていかなければならないのではないかなという感想を抱きました。

他に何か意見、質問等ございませんでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

特にないようでしたら、この件に関しては、特に問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

では、これで良しとします。

抽出事案 2 国土交通省桑名流域治水出張所管内市道占用部除草業務委託

【委員長】

それでは、次に第2案件「国土交通省桑名流域治水出張所管内市道占用部除草業務委託」について、発注担当課から説明をしていただき、その後、事務局から見積経過について説明をお願いします。

【アセットマネジメント課】

引き続き、アセットマネジメント課の加古でございます。よろしくお願いいたします。

概要書をご覧ください。

件名は、国土交通省桑名流域治水出張所管内市道占用部除草業務委託でございます。

履行場所は、桑名流域治水出張所管内。

履行期間は、令和6年5月21日から令和7年1月31日まで。

予算額は、税込み10,280,000円。設計額は、税込み10,269,600円でございます。

委託業務の概要は、国土交通省管理の河川堤防の市道占用部におきまして、車両通行時の安全性を確保するため、市道の両側1mを除草するものです。

除草工、塵芥処理工それぞれ72,200㎡であります。

概要については以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果について説明いたします。

資料の23ページをご覧ください。

令和6年5月15日に見積り合わせを行い、指名業者の株式会社伊藤工務店から見積を徴しましたところ、予定価格の範囲内でしたので、税抜き900万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等をお願いいたします。

【赤木委員】

随意契約理由を見させていただくと、令和5年のここに書いている契約の業者が、既に工事を受注していて、これが今回の業務委託の場所と一致するということなのでしょうけど。

質問になりますが、前の工事を発注するときに、除草業務がオプションというかおまけで付いてくるという予想のもとに行われているものなのかどうか。

つまり、この前の工事は入札だったと思いますが、除草も付いてくるからこのあたりを考えてお金を考えようとかそういうことが当初からあるのか、それとも、予想外にこの除草業務委託が付いてきたのか。

そのあたりはどうなのかなと思いまして質問します。

【委員長】

はい、お願いします。

【アセットマネジメント課】

アセットマネジメント課の加古です。どうぞよろしくお願いいたします。

先ほどのご質問ですが、本業務委託は、例年通り毎年行っている業務委託です。管理する区分がございます。

国土交通省が管理する部分は堤防法面の部分、道路管理者が管理する部分は道路の両端の1mの部分であり、この部分については、道路管理者である桑名市で業務委託をするということになっています。以上です。

【委員長】

赤木委員、今の答えでよろしいでしょうか。

【赤木委員】

これは、まず、前の工事というのは、そもそも、市の発注ではなく、国土交通省の発注ということでしょうか。

【アセットマネジメント課】

国土交通省の発注でございます。

【赤木委員】

はい。国土交通省の発注の部分についてはこの監視委員会で議論するテーマではないですが、興味の一つとして、国土交通省の発注の時点で、市の除草業務が来るんじゃないかということの予想はつくのかどうかだけ教えていただければと思います。

【アセットマネジメント課】

アセットマネジメント課の加古です。

先ほどのご質問ですが、先ほども申し上げましたとおり、管理部門が分かれておりますので、道路の両端につきましては、市のものというような認識はあると思います。

以上でございます。

【赤木委員】

となると、業者としては、除草業務はどこでもそうなんだろうけど、草がたくさん生えている状態で放置することができないということだと、発注があるんじゃないかという予想はつくだろうなという理解でよろしいですかね。

【アセットマネジメント課】

アセットマネジメント課の伊藤です。お願いします。

国は、道路の両側1m以外の部分を業者に発注して草を刈ることになりますので、市が随意契約を結ばない場合ですと、道路の両側1mだけ草が残ってしまって、そこを市がどこか別の業者に刈っていただくという管理になります。

なので、赤木委員がおっしゃられたように、業者としての1m部分を発注できるかどうかというところの考えについては市の方では認識はしていませんが、市が毎年同じような発注をさせていただいているというのは事実です。

【赤木委員】

わかりました。

【委員長】

よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、他にご意見、ご質問等ございませんか。

【副委員長】

事情はわかりましたが、第1回目の見積額は9,937,000円で、予定価格を下回るまで見積をされているんですけど、これは、最終的に合意できなければ、他者をお願いするしかないということになるのですか。

協議の中で、最終的にここに決着したということなのでしょうか。

【委員長】

はい。お願いします。

【事務局】

今回の随意契約につきましては、当初から見積は3回までというお話で見積り合わせを行っておりまして、1回目と2回目が予定価格の範囲外であったため、3回目の見積り合わせをさせていただいて、予定価格の範囲内でしたので落札決定をさせていただきました。

【副委員長】

もし、3回目で予定価格の範囲外だった場合は、改めて入札をされるのですか。

【事務局】

協議を行うか、もしどうしても合わなければ、もう一度発注内容を見直す必要も出てくるのかもしれないです。

【副委員長】

最終的に最初に見積った額よりも随分安くはなっているので、問題ないと思います。ありがとうございます。

【委員長】

よろしいですか。

他に、ご意見、ご質問ございませんか。

私の方から。そもそも、この除草業務という考え方によっては特殊な技術があるとは考えにくいものについて、随意契約にする理由がここにはありますけれども、随意契約にしないでもいいのではないかと思います。

もし仮に、入札でやったとしますと、随意契約でなかったとしますと、どれぐらい市の負担が増えるのかというのは何かあるのでしょうか。

【アセットマネジメント課】

アセットマネジメント課の加古です。

先ほどの質問ですけれども、試算というきっちりとした金額は出してはいませんが、まず、別発注にしますと、交通整理員が本来であれば、1つのまとまりとして発注できるものが、

国の分と市の分とで分けて交通整理員を発注しなければいけないというようなこともございます。その分については、経費が別でかかってきます。

また、一度に除草できるところを国が終わった後に市が施工する、もしくは、市が除草した後に国が施工するというような、工期の短縮にも繋がっていると思われます。

そのため、今回、随意契約にさせていただきました。

【委員長】

はい。ありがとうございます。

であれば、国の方の発注のタイミングがわからないのですが、国の方の施工業者が決まった段階で、市の方は随意契約の話をするというような流れなのでしょうか。

【アセットマネジメント課】

アセットマネジメント課の加古です。

先ほどのご質問ですけれども、国は令和5年度中に発注をして令和6年度に作業が始まっています。

市は令和6年度に発注をするということで、既に国が発注をした後に、市が発注をかけるという流れです。以上でございます。

【委員長】

はい。ありがとうございました。

国が決まったのを受けてやってらっしゃるということですね。わかりました。

他に、ご意見、ご質問ございませんか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは特にないようですので、この案件につきましては、問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

はい、それでは問題なしということで、これに関しては終わります。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。

抽出事案 3 陽和・正和中学校防火設備改修工事

【委員長】

それでは、次に第3案件「陽和・正和中学校防火設備改修工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【都市管理課】

おはようございます。都市創造部都市管理課高柳です。

私から工事の概要を説明させていただきます。座ってご説明をさせていただきます。よろしくをお願いします。

お手元の概要書に沿ってご説明をさせていただきます。

ページ数につきましては、24 ページです。

件名は、陽和・正和中学校防火設備改修工事。

履行場所は、次ページの位置図に示してございます陽和中学校、桑名市大字小貝須1408番地4及びその次のページの位置図に示してございます正和中学校、桑名市大字坂井339番地25地内でございます。

履行期間につきましては、令和6年6月4日から令和6年9月13日まで。

予算額は税込み20,152,000円に対しまして、設計額は税込み15,796,000円でございます。

工事の概要は、陽和中学校及び正和中学校における防火設備の改修工事でございます。

工事の内容といたしましては、各種防火扉における電磁レリーズ取替、自動閉鎖装置取替、順位調整器取替、オートヒンジ取替・調整、扉建付調整、不良箇所調整、電気設備工事としまして、制御盤更新、煙感知器取替を行っております。

工事の概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の35ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、建築工事業の特定及び一般の許可業者であること。

所在地は市内までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であることとします。

同種工事施工実績として、平成21年度以降に、官公庁が発注した案件で、建築一式工事の施工実績を有すること、技術者要件としては、現場代理人と主任技術者の配置を求め、兼務は可とします。

以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、36ページをご覧ください。

令和6年5月22日に開札を行いましたところ、4者から応札がありましたが、3者が最低制限価格を下回ったため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額で応札した有限会社ナカムラ建設が落札候補者となりました。事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き1,413万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、今の件につきまして、ご意見、ご質問等をいただきたいと思います。

【山下委員】

これまでの入札結果からいきますと、最低制限価格は逆算機能を使って、エンターキーを押したら出てくるんですよね。

おそらく、原課の方もこれは首を傾げたと思うんですよね。

3者が失格、談合じゃないかなってゆうのが頭をよぎるんですけど。

今まで、十数者とかそれよりもっと多い入札であっても、ほとんどエンターキーを押したら最低制限価格の金額が出てくると。それを見たらそれと同額にして、あとはくじ引きでと。

なぜ、この時には3者失格で、最低制限価格を算出できるはずなのに、なぜそれができないのか。もう、最初からナカムラ建設さんに決まっていたのかなという、そのように疑問を持ちました。

ただし、工事の難易度というか、金抜き仕様書を見ておりませんので、何とも言えませんが、積算するのが非常に難しい場合もございますので、一概には言えませんが、過去の入札結果からいくと、3者の失格について疑問を持ちました。

その辺について、どう思われるでしょうか。

【委員長】

はい。では、お願いします。

【都市管理課】

都市管理課の西脇です。お答えさせていただきます。

今回の工事は、直接工事費の中に、建設工事と電気設備工事ということで、工種が分かれておりまして、営繕工事の場合、諸経費を出す時に、建築工事に対して共通仮設一般管理費現場管理費というものをを出していきまして、加えて、電気工事に対しての共通仮設一般管理費現場管理費というものをを出しています。

建築工事と電気工事の割合が分かっていると、なかなか最低制限価格をぴったり出すことは難しいということで、今回、3者の業者さんは、おそらく、最低制限価格を狙って入札されたと思いますが、そこで若干、誤差が生じてしまったと想定しております。

【委員長】

はい。いかがでしょうか。

【山下委員】

わかりました。

【委員長】

はい。他に、ご意見、ご質問等ございませんか。

私もこれを抽出したのは、今の山下委員のご質問と同じで、同額がこれだけ並ぶ中で、なぜこの案件だけ金額がずれるんだろう、しかも3者が失格で、1者だけが飛び出ているので、何かそこに別な意図が働いているのだろうかどうなのだろうかという疑問は持ちました。

証拠も何もない状態ですので、今伺った説明で、この案件に関しては算出が難しい部分が

あるというふうに理解いたしました。

他に何かご質問等いかがでしょう。

【副委員長】

制度的に、変動型最低制限価格というのは、このような最低制限価格をそこまで下回っている業者がない中で、変動でうまく低い価格の業者を取り込むことができなかったのでしょうか。

【事務局】

はい、お答えします。

変動型最低制限価格につきましては、対象の入札者数が5者に満たない場合については、基準価格をもって最低制限価格とするため、今回の案件については、変動型の適用はなかったということです。

【副委員長】

はい、わかりました。

惜しいというか、もったいないような感じがしますけれど。

【委員長】

はい、ありがとうございます。

他にご意見、ご質問等はいかがでしょう。

なかなか、そのまま良しとするには違和感があるようではあります。

この案件については、これ以上さらにというのは難しいとは思いますが、今後も、入札の事務を進めていただくにあたり何を見たらいいのかというのは、なかなか言い難いことではありますけれども、できれば、これは5者以上であれば最低制限価格の変動がかかるということであれば、広く働きかけてより多くの業者に応札してもらうようにするとか、何か工夫できることがないか探していただくということではないかなと思います。以上です。

《意見等無し》

【委員長】

他にないようですので、この案件については問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

では、これで良しとします。

抽出事案 4 在良小学校トイレ改修工事設計業務委託

【委員長】

それでは、続きまして、第4案件「在良小学校トイレ改修工事設計業務委託」について、発注担当課から委託概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【都市管理課】

引き続き都市管理課の高柳からご説明をさせていただきます。

お手元の資料 37 ページの概要書に沿ってご説明させていただきます。

件名につきましては、在良小学校トイレ改修工事設計業務委託。

履行場所は、38ページに示しております在良小学校、桑名市蓮花寺129番地2地内でございます。

履行期間につきましては、令和6年5月28日から令和6年11月30日まで。

予算額は税込み4,315,000円に対しまして、設計額は税込み3,759,800円でございます。

設計業務委託の概要といたしましては、在良小学校トイレ改修工事の設計図面及び設計書の作成でございます。

改修工事の内容といたしましては、トイレの全面改修11か所、合計施工面積314㎡程度、その内1か所に多目的トイレを設置するものでございます。

設計業務委託の概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の43ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、桑名市入札参加資格者名簿に登録のある本店、支店等が建築士法による登録業者であること。

所在地は市内までとし、同種業務履行実績として、平成21年度以降に官公庁が発注した案件で、建築設計業務の履行実績を有することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、44ページをご覧ください。

令和6年5月15日に開札を行いましたところ、3者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額で応札した有限会社ミズタニ設計が落札候補者となり、事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き333万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご質問、ご意見等をお願いいたします。

いかがでしょうか。

特にないようでしたら、私の方から。

この案件を選んだのは、先ほどの案件と似ているかもしれませんが、同額入札が多い中で、これが正しい姿かもしれませんが、微妙に金額が少しずつ違っている。

人間というのはおかしいもので、同額入札に慣れると、逆に違う金額が出てくるとそれに

違和感を持ってしまうというのがありますが。

実は、この案件と似たような案件が他に2件ほど同じような契約があります。

それぞれ同じ傾向を示していて、それぞれ違う業者が、穿った見方をすると、順番にやっているのと言いたくなるようなものではあるんですけども、そういったことはないと思います。

実際、この設計業務の場合というのも、金額を出すのにあたり何か積算みたいなことがあるのでしょうか。それを教えてください。

【都市管理課】

はい、お答えします。

設計業務委託の積算については、国土交通省の告示で「建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準」が定められておりまして、その基準に従い積算しております。

具体的には、改修工事の設計業務を委託する場合には、対象となる改修工事を行うために必要な図面枚数を想定しまして、業務にかかる業務人・時間数を算出します。

算出した業務人・時間数に人件費単価を掛けまして設計額として算出しております。以上です。

【委員長】

はい。ありがとうございます。

そうすると、人件費等がかかってくると、何がしかずれることがあって当然ということでよろしいでしょうか。

【都市管理課】

そうですね。

最低制限価格はもっと低い金額だと思いますので、今回応札された金額は、それぞれの設計事務所さんが実際に業務を請け負える金額で応札されたので、バラつきが生じたのかなと思っています。

【委員長】

はい、わかりました。

他に何かご意見、ご質問等はいかがですか。

よろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは特にないようですので、この案件につきましては、問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

はい、それでは問題なしということで、これに関しては終わります。

担当課が入れ替わりますので、しばらくお待ちください。

抽出事案 5 多度9号井送水管布設工事（その1）

【委員長】

それでは、次に第5案件「多度9号井送水管布設工事（その1）」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【水道課】

上下水道部水道課の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、水道課から、概要書に沿ってご説明させていただきます。

件名につきましては、多度9号井送水管布設工事（その1）でございます。

次に、履行場所につきましては、桑名市多度町御衣野地内です。

地図につきましては、お手元の位置図にお示しさせていただいております。

履行期間につきましては、令和6年9月17日から令和7年3月14日まででございます。

予算額につきましては、110,000,000円。設計額につきましては、104,890,500円でございます。

工事の概要につきましては、多度地区に新設を計画している多度9号井に繋がる送水管路の布設工事でございます。

その内、送水管布設工としましては、表記がHRDIP-GXとございますが、ダクタイルのGX形というものを使っています。その口径が200mmのものが949.1m、150mmのものが175.0m、75mmのものが0.7mでございます。そのほか、小型空気弁設置工、アスファルト舗装工などの工事内容でございます。

簡単ではございますが、工事の概要の説明でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続いて、発注公告と入札経過についてご説明いたします。

51ページの発注公告をご覧ください。

執行方法は事後審査型条件付一般競争入札で、低入札価格調査制度対象案件となります。資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、土木工事業の特定許可業者であること、所在地要件は市内業者とし、経審点数は730点以上、発注業種の完成工事高が予定価格の2分の1以上であること、同種工事施工実績として平成21年度以降の官公庁発注案件で土木一式工事の施工実績を有することとしています。

技術者要件としては、現場代理人、監理技術者の専任配置のほか、その他技術者として、記載の①から③のいずれかの有資格者の配置を求め、その他要件として桑名市指定給水装

置工事事業者であることとしています。

また、低入札価格で契約を締結する場合に限り、これらのほかに監理技術者に求める資格を有する専任の技術担当者を1名追加配置することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、53ページをご覧ください。

令和6年8月20日に開札を行いましたところ、4者から応札があり、開札の結果、新成テック株式会社が調査基準価格を下回る8,182万円で応札し、本案件の最低入札価格かつ失格基準価格以上でありましたことから低入札価格調査を実施しました。

調査の結果、当該事業者は各調査項目において特に問題がなく適格であり、契約内容に適合した工事施工が可能であると判断されたことから、当該事業者を落札候補者と決定し、入札参加資格の事後審査でも適格でありましたので当該事業者を落札者と決定し、税抜き価格8,182万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい。ありがとうございました。

では、ただ今の案件につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【赤木委員】

どこで言おうか迷っていた、すごく突拍子もない話ですけど、そもそも、先ほどの事案で言うべきだったのかもしれませんが。

例えば、A、B、Cの業者がいて、A、Bはぎりぎりの低い価格で失格になって、Cは少し高めでというような談合っぽいと見えるのがあったとして、僕が前から思っていたこととして、ピンポイントの企業を見てもわからなくて、例えば、A、B、Cという業者が毎年3つの業務があって、それぞれを1個ずつもらっていて、次の年もその次の年もそうやって上手いことになっていると、それはそれでおかしいのではないのと、そのような偶然あるのということになって。

すごく突拍子もない話で、僕、何も知らないのでも聞きますが、多分、これは桑名市さん独自の話ではないと思いますけど、そういうものを見るためにA I とかを活用されて、そうやって怪しいところを見るときってゆう動きとかそういうのがあるかどうかというのを、興味本位で知りたいのですが、いかがですかね。

【委員長】

はい。事務局いかがでしょうか。

【事務局】

今のところ、A I を入れて、そのようなことを見るという話自体は、ありません。

【赤木委員】

全く、話題にもなっていないということですかね。

素人っぽいんですけど、おそらく、こういうのってA I が、滅茶苦茶、得意な分野だと思う

んですよ。

過去10年とか情報を入れたら、そこから怪しいところを見てくれて、さっき僕が言ったような視点で、この3業者がまわしているのでは等が見えてきて、これを人の手でやろうと思ったり、我々、監視委員が案件の抽出で資料をもらっても、おそらく不可能な話なので、これは今後、桑名市さんレベルで何とかなる話ではなく、もっと国のレベルでやったらいいんじゃないという話なので、本日の会議のどこかで言おうと思っていたので、すみません。

【委員長】

ありがとうございます。

それに関連するかどうかはわかりませんが、この案件を抽出したのも、もう1件ほぼ同じものがありまして、私共が時間の関係でどうしても、たくさんある案件の中から色々ピックアップするわけなんですけど、実際、この抽出の時に、全部のものを見させていただくと、今、赤木委員がおっしゃったように、いくつか並べてみると、あれ、これ順番だよなって言いたくなるようなものも見受けられ、だけど、その中の1つだけピックアップしてみると、特に問題なしというところしか出てこないという、少し何と言うか、歯痒いというかそういう部分は感じますので。

今回の案件も、もう1件、多度9号井送水管布設工事(その2)という案件がありまして、もうひとつの方は、やはり同じ4者が応札しているんですけれども、同じように落札できたのが同じ会社でして、それ以外の会社は同額で入札をされているということで、今回のケースで言うと、順番にというよりは、ここに集中したという感じではあるんですけれども。

そういった意味で、赤木委員が今おっしゃったようなAIの活用というのは、今、ものすごいスピードでそういうものの変化というのは起きていますので、桑名市さんとしても、そういったものの活用の方向性というのも視野に入れながら、今後の行政を考えていただけたらよいのではないかなと思います。

他に、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

特にご意見、ご質問等なければ、この案件につきましても、問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは、問題なしとします。

はい、それでは以上をもちまして抽出案件5件の審議を終了いたします。

発注担当課はここで退席してください。ありがとうございました。

《担当課退席》

【委員長】

次の審議案件の抽出は、順番により藤田副委員長にお願いします。

(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて

【委員長】

続きまして、「議事（3）入札・契約制度における課題・取組みについて」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

では、（3）入札・契約制度における課題・取組みについて、今回は「工事発注の平準化について」を、お手元の資料によりご説明申し上げます。

資料の1ページをご覧ください。

公共工事については、予算成立後に入札契約手続きを行い、単年度で事業を執行することを原則としていることから、第1四半期である4月から6月までの間は工事が減り、年度末に工期末が集中する傾向にあります。このようなことから受注者では工事の繁閑に大きな差が生じ、人材や機材の効率的な活用に支障をきたす状況にあり、こういった影響により入札の不調や不落到に繋がる恐れがあります。発注者においても担当職員の事務作業が一時期に集中するなどの問題が慢性的に生じております。

こういった諸問題に対し、担い手3法と言われる「公共工事の品質確保の促進に関する法律」では、発注者の責務として公共工事の品質を確保するため、公共工事等に従事する者の労働時間その他の労働条件が適正に確保されるよう適切な工期を設定すること、また、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」では、公共工事の発注者が施工時期の平準化のための方策を講じることを努力義務として規定されており、施工時期の平準化を図り、年度内の工事量の繁閑の差をできるだけ小さくし、年間を通して工事量を安定させる必要があります。

工事発注の平準化に期待される効果として挙げられる一例として、受注者・技能者では、年間を通じた安定的な工事の実施による経営安定化、人材や資機材の実働日数の向上や稼働率向上による機械保有等の促進、繁忙期への工事集中を回避することによる長時間労働の是正や仕事量が安定することによる安定的な雇用や休日の確保が挙げられます。

発注者・行政では、入札不調等の抑制などの安定的な施工の確保、繁閑の差が解消されることによる発注等担当職員の事務作業の負担軽減、建設業者の経営安定化による地域社会の品質向上や建設機械の保有が促進されることによる災害への対応力の向上が見込まれます。

また、地域住民へは年度末の工事集中による生活環境への影響の抑制に効果があると考えられます。

続いて、資料の2ページをご覧ください。

こちらは中部ブロック発注者協議会がアンケートにより集計しました、令和5年度の三重県14市の平準化率と取組状況です。

ここにあります平準化率とは、委員の皆さんもご存じと思いますが、工事の閑散期である

4月から6月における稼働状況をはかるもので、下に記載しています計算式のとおり、閑散期の月あたりの平均稼働件数を、年度全体の月平均の稼働件数で割ったもので、数値が1.0に近いほど平準化されているものと言えます。

桑名市は平準化率が0.65を示しており、鳥羽市の0.79に次ぐ2番目の高さとなっており、現在においても三重県内では高い水準と言えます。

表中にあります、平準化の促進に向けた取組みの「さしすせそ」になりますが、資料2ページの説明を見ていただきますと、平準化の促進に向けた5つの取組みの頭文字をとったもので、「さ」は債務負担行為の活用、「し」は柔軟な工期の設定、「す」は速やかな繰越手続き、「せ」は積算の前倒し、「そ」は早期執行のための目標設定を表しています。

14市全体の状況を見ますと、債務負担行為の活用、速やかな繰越手続き、生産の前倒しについては取組みが進んでいる一方で、早期執行のための目標設定は比較的難しく、柔軟な工期の設定については、ほぼ全ての市が取り組めていない状況であることがわかります。

これは、特に柔軟な工期の設定（余裕期間制度）では、余裕期間制度によって工事開始日や工期末を選択しやすくし、人材や資機材の調達がしやすくなり受注の機会を増やすことに期待できるというのですが、工事内容によっては施工時期が限定される、余裕期間を設ける余裕がない、などといった理由により採用していないことが想定されます。

平準化の維持・向上に桑名市の今後必要な取組みとしましては、まず一点目に、今の高い水準の平準化率を維持できるよう現在の取組みを継続していくことが挙げられます。

二点目に、他市県の先進事例を調査研究していくこと。

最後になりますが、積極的な債務負担行為の設定や早期繰越の実施には財政部局への理解が必要ですし、特に議会に対しては「平準化は法に基づくもの」ですとか「地元建設業の育成や品質向上」等を理由に丁寧に説明し、理解を得られるような努力が必要であると考えられます。

説明は以上でございます。

【委員長】

はい。ただ今の説明について、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

【副委員長】

この平準化は大変大事だなと思いましたが、これがなかなか進まない、桑名市はまだ頑張ってもらってる方と言っても、他の自治体も含めて、もう少し0.8みたいな数字がなかなか出てこないというのは、何が障壁になっているかという、やはり年度末までに使いきれないといけない予算があったりとか、そういったものの融通が利かないということなのでしょうか。

【委員長】

いかがでしょうか。お願いします。

【事務局】

そうですね。委員がおっしゃる通り、年度の予算は年度内で執行するというのが原則的に

ございますので、そこが大きな壁になっているのかなというところでございます。

【副委員長】

プロジェクトごとに3年でこれだけの金額を使うとかそういうのはないんですかね。

例えば、大学でも、研究費が、前は年度内にいくらってきっちり決まっていたんですけど、最近はプロジェクトごとに3年間で自由に使っていいみたいな基金化というような話があって、だいぶ使い方が楽になったというか、融通が利くようになった。

研究でも、最初からこれだけ毎年使うような計画は立てるんですけど、そういうふうに計画通りにいかない場合がよくあるんですけど、そのような財政の使い方は、今はなかなか難しいということですかね。

【委員長】

いかがでしょうかそのあたり。

【副委員長】

財政というのは、その年度内に使い切るというようになってるんですかね。

これだけ人手不足がね、言われている状態の中で、年度内に使えとか、昔から土木業界が年度末は忙しくて大変だとか言いながら、4月、5月はのんびりしているとか言って。

でも、前は、土日結構ずっと仕事をしていたのが、役所の人たちが金曜日に仕事を発注しないとかなというようなことを色々と考慮されて、年間を通した仕事の量が平滑化はされつつあるという話は聞いている。

でも、年度末は年度末で忙しいみたいな話はあって、お互い発注者側も受注者側もメリットがある話ですから、もう少しなんとかならないのかなと。

それは、法律か何かで決まっているんですかね。

【委員長】

いかがでしょうか。

【総務部長】

現在、桑名市の方でも、大きいプロジェクト等ですと、当然、債務負担とか使いながら、その中でもその案件の進捗にもよりますので、当年度にその計画通りにいかない場合は、その債務負担を修正しながら予算を組んでいるところではあります。

ただ、ある程度、年度内で済まそうという工事であれば、やはり、年度内というところが前提では進んでいるんですけども、そこは柔軟に翌年度も含めて継続費も含めてより進展していければいいかなと思っています。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

他にご意見、ご質問等いかがでしょう、よろしいですか。

平準化の取り組みについては、今後も努めていただいて、より良いものとなるようにお願いいたします。

それでは、この件については以上とします。

(4) その他

【委員長】

次に、その他ですが、委員の皆様から何かございますか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは、事務局の方から何かございますか。

【事務局】

特にございません。

3 閉 会

【委員長】

それでは、これにて令和6年度第2回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。

なお、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。傍聴の方、ありがとうございました。退席をお願いします。